

健康格差研究の決定版テキスト

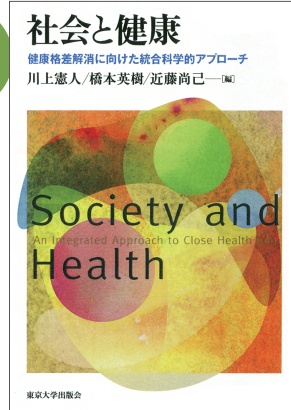
社会と健康

健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ

川上憲人・橋本英樹・近藤尚己 [編]

社会的な健康格差は、人間社会の大きな課題である。本書は、この課題に対して社会科学と健康科学の研究者が協力し、さまざまな視点からの分析を試みる。日本のデータやエビデンスを紹介し、社会政策に応用していく際のポイントにもふれる、新たな健康格差研究のテキスト。

New!
2015年
4月下旬
刊行



ISBN978-4-13-060411-6
A5判/344頁/本体3800円+税

〈主要目次〉

まえがき	境はどのように健康に影響するか／関連する測定手法／実証研究の紹介：幼少期の環境の健康影響／政策への示唆／まとめ	に関連する都市環境の測定／都市環境と身体活動の関連／政策への示唆／まとめ
序章 社会階層と健康への学際的アプローチ (川上憲人・橋本英樹)	第5章 ジェンダーと健康 (本庄かおり・神林博史) はじめに／ジェンダーと健康／社会階層と健康の関連におけるジェンダーの影響／女性の社会階層：階層指標における測定の問題／なぜ男女間格差は解消しないのか：制度という壁／ジェンダーと健康における社会政策への示唆／まとめ	第3部 社会連帯の形成
第I部 階層と健康	第II部 健康格差のメカニズム	第10章 社会保障制度 (小林麻毅) はじめに／自助・互助・共助・公助／社会保障の歴史／日本の社会保障制度の歴史／社会保障制度の将来／社会保障制度と制度研究
第1章 社会階層と健康 (橋本英樹・盛山和夫) はじめに／社会階層概念の理論的背景／「社会階層」の測定を巡る問題／社会階層と健康の関連をつなぐメカニズムについて／研究そして政策への示唆	第6章 貧困・社会的排除・所得格差 (近藤尚己・阿部彩) はじめに／概念と定義／測定／貧困・格差と健康をつなぐメカニズム／実証研究の到達点／さいごに	第11章 社会関係と健康 (杉澤秀博・近藤尚己) はじめに／社会関係を捉える概念の整理／社会関係の構造的側面／社会関係の機能的側面：社会的支援／社会関係の資源的側面：ソーシャル・キャピタル／介入・政策への示唆／まとめ
第2章 職業と健康 (堤明純・神林博史) はじめに：職業はなぜ重要か／職業はどのように健康に影響するか／職業とは何か：健康格差研究における職業の測定／実証研究の紹介／政策への示唆／まとめ	第7章 社会的ストレスと脳神経機能 (大平英樹・笠井清登・西村幸香) はじめに／脳神経の構造と機能へのストレスの影響／脳神経機能の測定方法／社会的ストレスと脳神経機能に関する実証研究／研究知見の社会的示唆／まとめ	第12章 健康の公平性と倫理 (浦川邦夫・児玉聡) はじめに／理論的背景／関連する測定方法／実証研究／政策への示唆／まとめ
第3章 ワーク・ライフ・バランスと労働 (大石亜希子・島津明人) ワーク・ライフ・バランスの社会経済的背景／ワーク・ライフ・バランスの概念と夫婦の生活時間配分の理論／ワーク・ライフ・バランスはどのように健康に影響するか／政策的インプリケーション／まとめと今後の研究の方向性	第8章 生活習慣の社会格差と健康 (福田吉治・宮本幸一) はじめに：健康格差の背景としての生活習慣／SESから生活習慣への説明経路／関連する測定方法／実証研究の紹介／格差を考慮した健康づくりに向けて：政策への示唆／まとめ	第13章 国際的な政策対応や取り組み (狩野恵美・藤野善久) 健康格差と健康の社会的決定要因がグローバルアジェンダに浮上した背景／WHO健康の社会的決定要因に関する委員会(CSDH)／すべての政策において健康を考慮するアプローチ／エビデンスにもとづいたSDH対策を促すツール／SDHアプローチにもとづいた対策の国際的な実例：高齢者にやさしい都市(Age-friendly City)／まとめ
第4章 幼少期の環境と健康 (藤原武男・小塩隆士) はじめに／理論的背景や議論の説明：幼少期の環	第9章 都市環境と健康 (井上茂・中谷友樹) はじめに／都市環境と健康・身体活動／身体活動	参考文献 索引

【注文書】

貴店名・番線	ご注文数	社会と健康 健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ 本体3800円+税 ISBN978-4-13-060411-6	
		お名前	お電話番号
		ご住所	
	冊		